

7/17

2年連続の2億円突破を目指して



令和元年の日南トマト出発式が、鳥取西部農協日南支所トマト選果場で行われ、生産者や関係者など約60人が出席しました。式では、日南トマト生産部長の岩田真也さんが挨拶し、関係者によるテープカットとにちなん保育園の園児が風船を空に放ち、今年の日南トマトの盛況を願いました。日南トマトは、県内はじめ岡山や関西方面に出荷され、2年連続2億円以上の売り上げを目標としています。

7/13~14

今年で節目の10年目

「日通共生の森」夏の森林育成活動が行われ、日本通運の社員、その家族など約30人が参加しました。活動が今年で10年の節目を迎えるにあたり、今回は森の下草刈りだけでなく、鳥取大学の日置佳之教授ひめよしの協力の下、生態系の調査を行い活動の成果を確かめました。夜にはホテル鑑賞を行い、2日目にはそば打ち体験や、イチゴ狩り&ジャム作り体験があり、日南町の魅力を味わう体験も行われました。2回目となる秋の活動では、10周年を記念する式典が予定されています。



7/27

初開催「にちなん夏祭り」



昨年まで開催されていた「ふれあい夜市」に代わるイベントとして、「にちなん夏祭り」が町総合文化センター野外イベント広場で開催されました。当日は、町内外から冷やしトマトラーメンや、ジビエ、かき氷などが販売されたほか、当てくじ、金魚すくいなどの子ども縁日も行われました。また、特設ステージでは、神光社による日南神楽やNDSのダンス、歌実のアコースティックライブなどが披露され、訪れた人は食事やつまみなどを楽しみつつ、ステージを楽しんでいました。

7/21

大阪で2回目の「日南町フェア」開催

大阪市にあるヤンマー㈱の本社ビルで、昨年12月に続き2回目となる日南町フェアが行われました。今回は、町産のトマトやアスパラガスなどの夏野菜に加え、町産のもち米を使った「ちまき」を販売しました。また、白谷工房による町産材を使ったお弁当箱作りのワークショップも開催されました。多くの方にご来場いただき、日南町の魅力を広く発信するイベントとなりました。



7/27

多里の街中が幻想的な空間に

多里の愛宕山祭りに合わせて行われる火祭り「多里是好日」が、今年も多里街中で行われました。今年は新たに4月に開校したにちなん中国山地林業アカデミーも、竹の燈籠を飾るなどして祭りに参加しました。また、写真家の豊哲也さんによる「夜景撮影講習会」も行われ、豊さんからの講義を受けたあと街中に出て、実技指導を受けながら思い思いに、火祭りの幻想的な雰囲気写真を写収に収めていました。

